

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科 目 名	担当教員	曜日	時限	定員
欧米文化研究	中島 浩貴	火	3	若干名
インテレクチュアルヒストリー特論（大学院）	中島 浩貴	火	4	
多文化コミュニケーションB	比嘉 徹徳	水	2	
機器分析	小曾根 崇	木	3	
機械力学Ⅰ・演習	古屋 治	木	3・4	
戦争と平和の歴史 ※	中島 浩貴	金	1	
戦争と平和の歴史 ※	中島 浩貴	金	2	
欧米文化研究	中島 浩貴	金	3	
無機・分析化学	小曾根 崇	金	4	

※「戦争と平和の歴史」は、いずれも同一内容の授業を行います。

【授業時間】※ 1 コマ 100 分授業。

1 時限： 9：20～11：00 2 時限： 11：10～12：50
3 時限： 13：40～15：20 4 時限： 15：30～17：10

【授業開始日】

9月15日（月）より開始します。

【講義回数】

各科目とも授業は14回を予定しています。

【学期末試験】

受験の必要はありません。

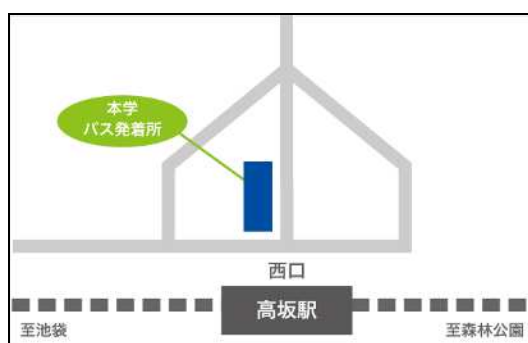
【注意事項】

- ・学内の IT サービス（ネットワーク、UNIPA、WebClass、Box、Zoom、Web メール、PC 貸与など）および図書館はご利用いただけません。
- ・各科目の担当教員、授業時間割、授業内容は変更となる場合があります。
- ・休講が発生した場合、通常とは異なる曜日・時限に補講が行われることがあります。
- ・授業は埼玉鳩山キャンパスでの対面形式で行います。なお、新型コロナウイルス感染拡大等の影響によりオンライン形式に変更された場合は、受講を中止させていただきます。

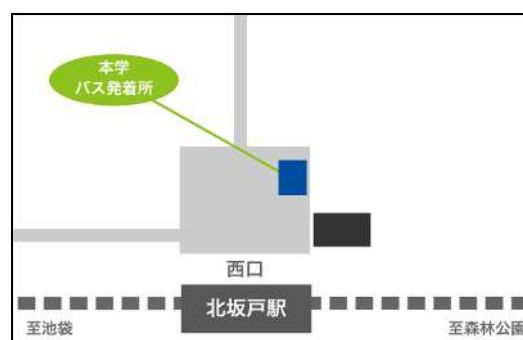
(2) 場所

東京電機大学埼玉鳩山キャンパス（住所：埼玉県比企郡鳩山町石坂）

- ・スクールバス（無料）は、東武東上線「高坂駅」および「北坂戸駅」からご利用いただけます。（高坂駅発：約 8 分、北坂戸駅発：約 10 分）
 - ・自動車での通学も可能です。希望される場合は、教務担当窓口までお申し出ください。
- なお、本学駐車場で発生した事故等について、大学は一切の責任を負いかねます。



高坂駅スクールバス発着所



北坂戸駅スクールバス発着所

2 受講料等

(1) 受講料 1 科目につき 10,000 円

(2) その他 教科書などの教材は、自己負担でご用意いただきます。
(教材の詳細については、初回授業時に担当教員より指示があります)

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和 7 年 8 月 22 日 (金)

(2) 申込先 ①e-mail の場合: ri-kyomu@jim.dendai.ac.jp

②はがきの場合:

〒350-0394 埼玉県比企郡鳩山町石坂

東京電機大学 理工学部事務局 教務担当

(3) 申込方法

「e-mail」または「はがき」で、以下の事項をもれなく記入の上、お申し込みください。

- ①郵便番号・住所
- ②氏名・ふりがな
- ③年齢（令和7年4月1日現在）
- ④電話番号（日中連絡が可能な電話番号）
- ⑤緊急連絡先（受講者以外）
- ⑥メールアドレス（無い場合は「なし」と記入）
- ⑦受講希望科目名（複数選択可）
- ⑧通学方法（スクールバス、自動車（送迎含む）、その他）

(4) 選抜方法

定員を超えるお申し込みがあった場合は、抽選により受講者を決定いたします。
（受講の可否については、お申し込みいただいた方全員にご連絡いたします）

(5) その他

お申し込みの前に、以下の項目をご確認ください。

- ・第1回目の授業から出席が必要です。
- ・学内のITサービス（ネットワーク、UNIPA、WebClass、Box、Zoom、Webメールなど）および図書館（閲覧・貸出）はご利用いただけません。
- ・パソコンの貸し出しは行っておりません。

4 各授業科目の概要および担当教員

欧米文化研究 (中島 浩貴)	本講義では、ヨーロッパとアメリカの文化を見ていき、欧米文化の歴史的な変化を見ていきます。そして、欧米の文化的な影響を受けた日本が、どのように変化・対応していったかをも触れていく予定です。なお、映画やドキュメンタリーを見ることで、文化の類似と相違を感じてもらいたいと考えています。
インテレクチュアルヒ ストリー特論 (中島 浩貴)	近年、情報や知識、知、学問といったもののとらえ方が大きく議論されてきています。その背景には、情報や知と価値や意味が結びつくなかで、学術や産業などが生み出されてきた状況があります。この問題について、情報や知といったものがどのように変化してきた歴史的状況を把握する必要があります。現代においても様々な情報や知が形成され、独自性を持つようになっていく状況は変わりません。情報が世界を作り上げていく状況について、全体的な問題性と個別のテーマに絞つつ、実践的な視点も考察していくことが目的となります。本講義では文理複合的な領域において、情報による価値形成を論じていきます。
多文化コミュニケーションB (比嘉 徹徳)	前期「多文化コミュニケーションA」に引き続き、この授業ではドイツ語の初級文法をしっかりと学びながら、実践的なドイツ語会話の練習を行い、ドイツ語圏文化についてさまざまな話題を取り上げます。ドイツ語を入りに、ヨーロッパ全般への関心を高め、多文化コミュニケーションへの足がかりとします。必要に応じて、時事的な話題の紹介や映像の鑑賞を行い、異なる文化への関心を広げることを目的としています。
機器分析 (小曾根 崇)	現代では分析機器を用いることで、より詳細な化学分析が行えるようになり、化合物の情報(結合、構造、組成等)は簡便に入手できるようになった。代表的な機器分析法について、基本的な測定原理、装置の仕組みと分析結果の求め方やデータの読み取り方を学ぶ。
機械力学Ⅰ・演習 (古屋 治)	我々の身の回りには、振動しているものが身近に多数あります。機械力学は、なぜものが振動するのかを学習する力学の講義であり、機械分野では、機械設計に必須な専門科目です。本科目では、運動方程式の立式に関する考え方から振動系に減衰がある場合、ない場合での振動応答などについて学びます。履修者は、本講義を通じて、機械工学に関連する分野で活躍するために必要な専門知識と工学基礎を身に付けることを目標とします。
戦争と平和の歴史 (中島 浩貴)	この講義では、世界を見ていくのに重要な戦争と平和の問題を軸に歴史をみていきます。1789年から1990年を中心に、フランス、プロイセン=ドイツ、イタリア、そして日本、アメリカなど世界を対象とします。近現代の世界史では、戦争と平和の問題が社会に大きな影響を与えてきました。最新の研究動向を踏まえながらも、わかりやすく話しながら、広い視野を持ってみていきます。
無機・分析化学 (小曾根 崇)	本講義では無機化合物の「性質」と「構造」を学ぶことで、構造と性質の一般的な相関関係を理解していく。内容は 1. 単純な無機化合物の結晶構造とその性質を学ぶ 2. 酸塩基反応についてルイス酸・塩基の概念から学ぶ。 3. 錯体の配位構造と異性体および結晶場理論の基礎を学ぶ。